

# 第5回「日本語体験コンテスト in クアラルンプール」

## 実施報告書



<後列左より>YEO 先生・松本先生(ISTIMEWA JAPANESE LANGUAGE CENTRE)、秋田審査委員、北原審査委員長、西尾実行副委員長、菊川実行委員長、杉田一等書記官(在マレーシア日本国大使館)、辻支店長・ミラ様・ハナム様(全日本空輸株式会社クアラルンプール支店)  
<前列左より>入賞者5名: EZANEE EZRAN BIN ZIAD, TAY YE YONG, NUR ARIFF BIN MALEK, LEE YOONG LIANG, ABDUL HALIM BIN MAMAT

- 【開催日】 2019年8月22日(木) 予選会 13:00～ 本選会 14:30～
- 【会場】 JW Marriott Hotel , Kuala Lumpur
- 【主催】 一般財団法人 共立国際交流奨学財団
- 【現地運営団体】 A to Z Language Centre
- 【後援】 日本国文部科学省  
在マレーシア日本国大使館  
全日本空輸株式会社クアラルンプール支店
- 【協賛】 株式会社 共立メンテナンス

## <総評>

2015年より始まった「日本語体験コンテスト in クアラルンプール」は2019年度で第5回目を迎えました。

第5回「日本語体験コンテスト in クアラルンプール」は8月22日(木)マレーシア・クアラルンプール市の JW Marriott Hotel, Kuala Lumpur にて開催されました。

一次予選会では、日本の地理、政治、経済、文化、文学、社会、流行などの幅広い分野から、聞き取り問題30問が出題されました。コンテスト参加申込者は54名で、当日の参加者は47名でした。

その後予選会を通過した19名が、本選会の3分間即興スピーチに進みました。本選会の即興スピーチでは、その場で出された3つの課題、

- ①日本では翻訳機が売られています。もしあなたが翻訳機を手に入れたら、日本語を勉強しないで翻訳機を使いますか？それとも使わないで日本語を勉強しますか？その理由を話してください。
- ②日本政府は「日本人は働きすぎる」という問題から、働き方を変えようとしています。働きやすくするためにどんな方法があると思いますか？その方法を教えてください。
- ③日本語を習得するのは難しいと思いますか？それとも簡単だと思いますか？その理由を話してください。

というテーマから1つを選択し、5分間のシンキングタイムの後、3分間の即興スピーチを行いました。

予選通過者19名でテーマ①を選択した人は7名、テーマ②を選択した人は4名、テーマ③を選択した人は8名で、やや均等的に分かれました。

そして、審査委員3名による審査の結果、入賞者5名が選ばれ、賞状と賞品目録が授与されました。

入賞賞品としては、2020年1月19日(日)～1月26日(日)(7泊8日 1泊機内泊)の日程で、日本体験旅行に参加する権利を与えられました。

この日本体験旅行で日本の生活や文化を体験し、日本留学の夢を実現する為の旅行にしてもらい、さらなる日本への興味、理解を深めてもらいたいと思います。

## <実施報告>

### ■ 予選会

予選会	13:00～	開会の辞・注意事項説明
	13:05～	予選会 (日本語聞き取り問題 30問)

日本の地理、政治、経済、文化、文学、社会、流行などについての聞き取り問題 30問



応募総数 54 名中、47 名が参加  
一次予選(聞き取り問題)に挑戦

### ■ 本選会

一次予選成績上位者 19 名が本選会へと進みました！

本選会	14:10～	昨年度入賞者による日本体験旅行紹介
	14:30～	開会の辞・審査委員紹介・注意事項説明
	14:40～14:45	シンキングタイム
	14:45～	スピーチ

### スピーチ課題

- ①日本では翻訳機が売られています。もしあなたが翻訳機を手に入れたら、日本語を勉強しないで翻訳機を使いますか？それとも使わないで日本語を勉強しますか？その理由を話してください。
- ②日本政府は「日本人は働きすぎる」という問題から、働き方を変えようとしています。働きやすくするためにどんな方法があると思いますか？その方法を教えてください。
- ③日本語を習得するのは難しいと思いますか？それとも簡単だと思いますか？その理由を話してください。



## 即興スピーチの様子



## 審査委員からの質疑応答の様子



テーマ①では、「翻訳機は機会だから感情がなく冷たい」「電池やネットがなかったら使えない」という欠点を指摘し、「発音や文化、ことわざを学びたい」という、語学学習だけではない深い学びを求めている学生が多く見受けられました。

テーマ②では、「効率よく仕事をする」ための改善策として、「事前に段取りをしっかりと組む」「デスクを綺麗に保つ」「仕事の優先順位を決める」と、それぞれが考えた方法をしっかりと述べていました。

テーマ③では、「日本語は難しい」と答えた人は、使役・受け身の使い方、敬語など、日々の学習での苦勞を語っていました。一方で「日本語は簡単」と答える人も見受けられました。それは、多民族国家であるマレーシアで複数の言語を習得することは当たり前である事が関係しているかと思われます。

3分間の即興スピーチの後には審査委員からスピーチに対する質問がありますが、聞かれたことにしっかりと受け答えをし、自身のスピーチをより深みのあるものにしていました。

## 表彰式

表彰式	16:30～	「夢・日本体験賞」発表(5名)
-----	--------	-----------------

- ＜式次第＞
- 一、開会の辞
  - 一、実行委員長挨拶
  - 一、来賓挨拶
  - 一、審査委員長講評
  - 一、賞状授与
  - 一、奨励賞授与
  - 一、閉会の辞

＜実行委員長 挨拶＞



菊川実行委員長

＜来賓 挨拶＞



一等書記官 杉田 光彦様  
(在マレーシア日本国大使館)

＜来賓 挨拶＞



支店長 辻 功様  
(全日本空輸株式会社  
クアラルンプール支店)

＜審査委員長 講評＞



北原審査委員長

## ◆賞状授与◆



入賞者 5 名に菊川実行委員長より賞状と目録が授与されました。

## ◆奨励賞授与◆



惜しくも入賞を逃した一次予選通過者 14 名には、西尾実行副委員長より奨励賞が授与されました。

## 入賞者 「夢・日本体験賞」

入賞者 5 名には、『夢・日本体験賞』(7 泊 8 日の日本体験旅行)を贈呈いたしました。

この旅行で、日本の文化や生活を間近に感じ、日本への理解と興味を深め、さらには日本とマレーシアとの交流をより一層強くさせる一助となることを望みます。



氏名	所属
アブドゥル ハリム ビン ママット ABDUL HALIM BIN MAMAT	UTM KUALA LUMPUR
リー ヨン リアン LEE YOONG LIANG	WAWASAN OPEN UNIVERSITY
ヌル アリフ ビン マレク NUR ARIFF BIN MALEK	JASSO
テイ イー ヨン TAY YE YONG	HANA PRIVATE JAPANESE TUTOR
エザ ニ エズラン ビン ジアッド EZANEE EZRAN BIN ZIAD	PUSAT BAHASA TEIKYO

### < 講評 >



#### 審査委員・出題委員長 秋田 苑実 先生 学校法人 共立日語学院 専任教員

「日本語体験コンテスト in クアラルンプール」は、今回で 5 回目という節目を迎えました。本選会に進出された方は 19 名と昨年より多かった中、皆さんそれぞれの観点で表現力豊かにスピーチしてくださいました。

一つ目のテーマ「翻訳機を手に入れたら日本語の勉強をしないで使うか」では、翻訳機の利便性を認めながらも、機械では表現できない言語のもつ美しさ、表現の豊かさについて言及し、「使わない」と主張する方がほとんどでした。特に、そうした言語学習の面白さを知った具体的なきっかけ、エピソードを交えながら話してくださいました方は、日頃から楽しみながら日本語学習に取り組んでいることが伝わってきました。二つ目のテーマ「日本人が働きやすくするためにどんな方法があるか」では、「飲みニケーション」や「過労死」といった言葉まで出て、皆さんが現代日本社会の問題についてもアンテナを張っていることを知り、大変驚かされました。入賞された方は①現状の把握、②提案、③この提案を実行したらどうなることが予想されるか、といったわかりやすい展開で、聞き手である私も実践してみたいくなるような説得力がありました。三つ目のテーマ「日本語を習得するのは難しいか簡単か」では、漢字や文法、といったように「難しい」と思う点を挙げるだけで終わってしまった方も多かったのではないのでしょうか。そのため、この難しさにはどんな意味があるのか、なぜこんなに難しいのか、母語との比較や文化的背景にまで思いを巡らせていた方のスピーチにはオリジナリティが感じられ、特に印象に残りました。

全体として難易度の高かった今回のスピーチテーマでしたが、まさに「翻訳機では表現できない」皆さんの日本語に対する情熱、思いが感じられ、節目である 5 回目のコンテストとしてふさわしいものだったのではないかと思います。これからも皆さんがこの情熱を絶やさず、日本語の学習を続けてくださることを願っています。